

# 南の風

—第9号—

新しい年が始まりました。新型コロナウイルスの感染拡大が続いていますが、子どもたちが笑顔で学校生活を送れるよう、一人ひとりの気持ちに寄り添いながら教育活動を行っていきたいと思います。本年もよろしくお願いたします。

## 病弱教育を考える

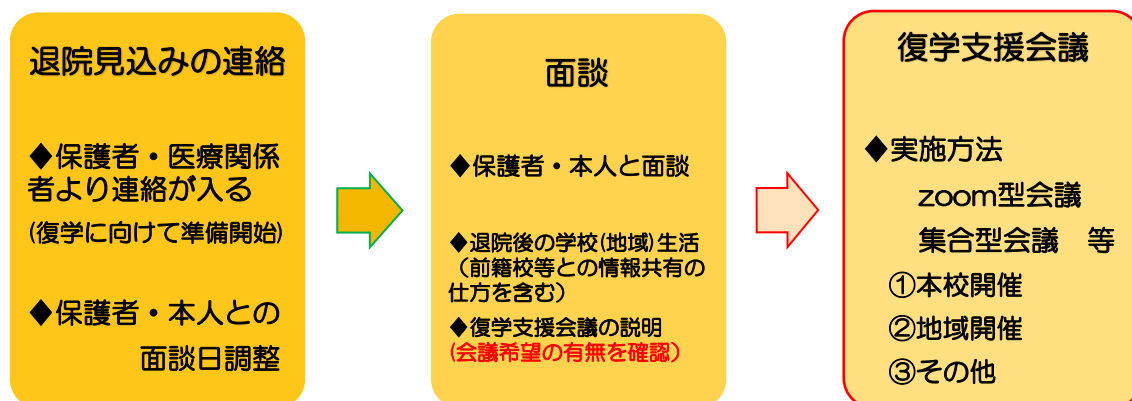
### 『学校一丸で復学を橋渡し』 ～病気の児童・生徒と地域とのつながり～



今までの日常から治療のため入院・入所をする児童・生徒は、長期、短期、頻回とそれぞれ入院・入所期間は異なりますが、一人ひとりの状況に応じて「地域(前籍校等)とのつながり」を考えていく必要があります。つながりを維持するために学校は、入院・入所前、入院・入所中、退院・退所前など、さまざまなタイミングで必要なかわり方をしています。

今回は、その中の1つ退院・退所前の「復学支援」について説明します。大まかな流れはつぎの図のとおりで、保護者・医療関係者より退院・退所の情報が入った時点で、支援連携グループの教育相談チームのコーディネーターが、退院・退所後の生活に関わる内容について保護者・本人と面談をしています。

(図)



復学に向けての面談では、登校の進め方(短時間からの登校など)、不調時の対応・連絡先、現在の病気の状態、クラスメートへの説明の仕方、学校生活での留意事項(ex. げた箱・座席の場所、感染症対策、服薬の有無、学習、給食、体育/運動制限)などについてお話を聴かせていただきます。

さらに復学支援会議を実施する場合は、主治医をはじめとする医療関係者、前籍校の先生方、保護者、本校担任など関係する方々の参加調整を行います。会議では、医療関係者から具体的な配慮事項についての話や前籍校等の先生方から気になることなどを伺い、本校からも学習の様子をお伝えしながら、保護者・本人の考えを聴き、かつ不安のない状態で退院・退所後の生活を送れることを関係者と共に考えながら会議を行っています。

なお、医療に関わる情報については本校から伝えることはできませんので、必ず保護者・本人に問い合わせいただくことも確認しています。

本人・保護者は、退院・退所をした後の生活について不安を持っています。また、退院・退所後に受け入れる地域(前籍校の先生方など)も、児童・生徒が安全で楽しい学校生活を送るために、どのようなことに気をつければよいのかを考えています。そのために、本校は学校一丸となり、『橋渡し』の役目を果たすよう努めています。

これからも復学支援に関わるだけでなく、気になることや聞きたいことは遠慮なく各学部部門の教育相談コーディネーターにいつでもご連絡ください。

担当:支援連携グループリーダー 齋藤 洋子

【連絡先電話番号:小学部・重心部門 045-712-4074 / 中学部 045-712-4087】

## 学校生活 中学部 ～3学期がスタートしました～

1月11日より3学期がスタートしました。

始業式は、中学部各学年の教室と病棟とをクラスルームというアプリを使ってつなぎ、学部全体で行いました。式では、各学年代表生徒から3学期の抱負の発表があり、「2学期よりも勉強を頑張る」、「受験に向けて受験勉強を頑張ります」など、勉強に意欲的に取り組もうとする意気込みが感じられました。感染症対策のため、1つの教室に集まって行うことができず残念でしたが、他学年の抱負を聞き、新しい気持ちで3学期をスタートできたのではないかと思います。

また、なかなか校外学習に出かけることが難しい状況が続いていますが、反面、リモートで体験学習をする機会が多くなりました。12日には、国立科学博物館から『骨ほねウォッチング』という授業をしていただきました。“人類の祖先が二足歩行をしていたことが化石からわかること”や“サルやイルカ、コウモリなどの骨と人類の骨格を比較すると祖先が同じだとわかること”を、骨格標本や写真を交えて丁寧に説明してくださいました。生徒だけでなく教員も興味津々で授業に参加していました。



### 2月 行事予定

- 3日(木)～4日(金) 中学部 3学期期末試験(3年生)
- 9日(水)～10日(木) 中学部 3学期期末試験(1・2年生)
- 16日(水) 環境衛生検査
- 18日(金)～25日(金) 個人面談期間(重心)